

7. 行政への新しい風 8. コロナ後の山梨市への新しい風

50の民間協働事業にチャレンジ

まちづくりは市役所だけ完結する仕事ではありません。市民のみなさまはもとより、山梨市を応援していただける企業やNPOなどは数多く存在します。そこで、私は、山梨市を応援したい企業や組織、市民のみなさんと職員が協働し、実施できる50の民間協働事業を立ち上げます。今までの市役所にはなかったスピード感とアイデアで地域の課題解決に積極果敢にチャレンジします。

稼ぐ市役所への変革

市役所が、地域の課題解決に取り組むためには、原資となるお金が必要です。私は、山梨市へのふるさと納税を16億円から山梨県で最も多い58億円に引き上げることにチャレンジします。市役所が稼ぐことで新たな挑戦ができ、子育て、介護の負担軽減や商品の販売を通じた地域経済の活性化にもつながります。稼ぐ市役所実現のため、私は企業経営で培った経験を生かし、市職員と汗をかきながら市役所を変革していきます。

あなたのやってほしいを根津和博に伝えよう！

下記方法または直接事務所にぜひお気軽にあなたのお声をお聞かせください。

電話 FAX メール

アンケートフォーム




エネルギー地産地消への挑戦

本市は、全国屈指の晴天率を誇り、また山、川の豊富な自然資源もあることから、私は、太陽光発電や標高差を生かした水力発電などを推進し、本市独自の電力の供給を図ります。太陽光発電は土地開発で設置するのではなく、各家庭の屋根を最大限に活用するなどして、環境に新たな負荷をかけない全国に先駆けたエネルギーの地産地消構造をつくります。

暮らしやすさ日本一への挑戦

本市には、豊かな自然や安全に暮らせる住環境があります。これらの地域資源を生かしながら、安心な行政サービスを受けられることで、ゆりかごから墓場まで安全・安心に暮らせることができるまちを目指します。誰もが「山梨市に住んで良かった」、県内外の人達から「山梨市に住んでいるなんて羨ましい」と言われるまちづくりを進めていきます。



ね 根 津 和 博

山梨市議会議員

おんねん だんじょん

根津和博ってどんな人？
 1977年生まれ 43才。
 高校で出会った妻と大恋愛の末、結婚し、現在は妻と3人の子どもたちと暮らしています。
 山梨市が大好きで、まちづくり活動で山梨市の魅力を発信したり、人と人をつなぐ活動をずっと行ってきました。
 先が見えない時代だと言われていますが、山梨市の未来は明るいと私は信じています。「みんなでやるじゃん！」を合言葉に、一緒に未来の山梨市を創りましょう！

月刊根津レポート Monthly Title vol.3 2021年8月下旬発行

夢に想いを馳せたことがありますか？でも、「どうせ、ダメって」頭ごなしに諦めたことありませんか？人生はいつでも、自分の心持ち次第で変わります。私も昔は、困難にぶつかったとき、物事をあきらめることが多かったように思います。でも、今では私も、1人で悩んだり、困難を抱え込んだりするよりも、仲間とともに困難を打破して、価値ある未来を構築する方が楽しいと、自然と思えるようになりました。私がそう思えるようになったのも、良き師、良き友、良き本など、自分とは違う価値観に出会うことができ、様々な多様性を感じることができたからこそだと思います。

人生100年時代を迎え、主体的に行動することの重要性を改めて感じています。そして、地域にある困難を打ち破り、新しい時代を切り開くため、1人ではなく、多くの仲間と一緒に、一歩前に歩を進める決意を改めて持ちました。人こそ根本。1人では1人力。しかし、2人からは2人力ではなく、無限大！！可能性という力を、大きく羽ばたかせて、みんなと一緒に行動していきたいと思っています。キャッチフレーズは「みんなでやるじゃん！！」ともに、明日を楽しく歩んでいきましょう (^_^)

山梨市議会議員 根津和博



発行 ▶ 根津和博と山梨市を「大好きなまち」にする会

〒405-0032 山梨県山梨市正徳寺508-1
TEL 0553-88-9515 FAX 0553-88-9586
Mail daisukiyamanashi@gmail.com HP https://nezukazuhiro.com/



山梨市に吹かせる根津和博の新しい風

根津和博は、みなさんと一緒に山梨市に新しい風を吹かせたいと決意しています。これからの山梨市はどんなまちになっていくのか。わくわくする山梨市のまちづくり、みんなでやるじゃん！

1. 4年間止まった跡地有効活用への新しい風 4. 地域産業への新しい風 5. インフラ整備への新しい風

1. 旧山梨市役所跡地の有効活用

2014年から7年間もの間、旧市役所跡地の活用が決まらなかった。この土地の活用方法として、全天候型子育て支援センター及び高齢者福祉の拠点施設の複合施設を建設したいと考えています。地域の子どもたちの遊びを通じた成長にご高齢の先輩方に関わってもらえるような、世代を超えて利用できる施設を整備します。合わせて隣接市にあり、施設が老朽化してきている国、県の出先機関などの公共性を有する複合同庁舎を目指していきます。

4. 遊休農地 370ha 活用

山梨市にある370haを超える遊休農地を蘇らせることは、山梨市の農業政策として極めて重要です。再整備した圃場で果樹栽培を活発にすることで市内に生み出された雇用は、人口減少に歯止めをかけることにつながります。これは山梨市に企業を誘致したのと同以上の経済効果が期待できます。

農産物を高付加価値化する加工場の設置

農業は、農産物を生産するだけではなく、景観の保持や文化の継承などの面で地域社会を守ってきました。私は、本市の農業生産を維持、発展させるために、農家の所得をさらに上げ、儲かる農業を展開したいと考えています。農業生産に新たな付加価値を生み出す仕組みとして、市内農業生産者の誰もが加工まで行える農産物の加工場を作ります。

観光専門人材を雇用し、広域DMO^{※1}の立ち上げ

山梨市には豊かな自然環境や観光資源が多くあり、さらなる活用により無限大の可能性にあふれています。アフターコロナ期に多様化する観光ニーズをいち早く捉え、観光解禁時に多くの人々が訪れるまちとなるための準備がいまから必要です。そのために、効果的な情報発信や魅力的な観光地のプロデュースが必要であり、私は、観光振興の専門家と一体となった本市観光資源の魅力向上を行います。

※1 DMO：官民の連携により観光地域づくりを推進する法人
※2 ICTスキル：情報伝達の技術

5. 中央自動車道との直結道路整備

山梨県は、高速道路や鉄道などの交通網の整備とともに発展してきました。アクセス環境の向上を図ることで、企業の進出や観光交流人口の増加、新規住民の移住など、「新たな流れ」が生まれ、さらなる地域活性化が期待できます。中央自動車道から本市へのアクセス向上を図り、利便性を高めることで、本市に「新たな流れ」を生み出します。

2. 女性と子育て教育環境への新しい風 6. 市民生活への新しい風

2. 小中学校の給食費の完全無償化

現在の給食費は、年間で1人当たり小学生52,000円、中学生62,000円となっており、子どもの人数が増えるほど家計負担は重くなっています。そこで私は、小中学校の給食の完全無償化を実現したいと考えています。給食費の無償化で、家庭や学校の負担を軽減させるとともに、子育て世帯の山梨市への移住を促すきっかけにしていきます。

6. 通学路の安全対策

市内にも交通量が多く、子どもたちが危険にさらされる場所もあることから、早急に通学路の安全確認を行います。点検によって危険が確認された地域は、歩道の拡幅など安全対策を講じていきます。歩道の設置などが難しい場合は、誘導員を配置するなど児童生徒の安全が守られるよう取り組みます。

災害時に備えたICT^{※2}スキルの向上 (高齢者を対象とした防災スマホ教室の開催)

スマートフォンが活用できれば、災害時であっても地域の情報をリアルタイムに収集できます。そこで、私は市民を対象とした「スマホ教室」を実施し、ご高齢の方など情報機器が苦手な方であっても分かりやすく使えるようにします。救える命を一つでも増やすよう、市民のみならず、ICTスキル向上に取り組めます。

3. 医療福祉への新しい風

3. 障がい者雇用の積極的な推進

誰もが自身の能力や適正を活かし活躍できる社会を作ること、重要な地域課題の1つです。私は経営者として、農業と福祉の連携した障がいのある方の就労継続支援事業を行っています。そこで私は、障がい者を対象とした職業カウンセラーを配置し、企業とのマッチングを推進します。

